

通信教育実施計画

静岡泉洋高等学校

年度	教科	科目	単位数	年次
2026	理科	化学基礎	2	2
指導目標	日常生活や環境との関連を図りながら、物質とその変化についての関心を高め、化学の基本的な原理や法則を理解させ、科学的に探究する態度を養う。			
レポート課題回数	6回	合格枚数 6枚	教科書	東京書籍 新編 化学基礎
スクーリング回数	8回	1回のスクーリングは50分	副教材	なし
評価	5段階評価、観点別評価の実施		単位認定試験	12月

	単元・指導計画	指導内容	レポート	提出期限
4月	物質の成分と構成元素	<ul style="list-style-type: none"> ・純物質と混合物 ・単体と化合物 ・物質の三態 	NO.1	5/13(水)
5月	元素 電子配置 周期表	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造 ・原子の電子配置 ・元素の周期表 	NO.2	6/10(水)
6月	イオンとイオン結合	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの生成 ・イオン結合 ・イオン結晶 	NO.3	7/8(水)
7月	分子と共有結合 金属と金属結合	<ul style="list-style-type: none"> ・共有結合と分子の形成 ・分子間力と分子結晶 ・金属結合 ・化学結合と物質の種類 		
8月	復習			
9月	物質量	<ul style="list-style-type: none"> ・原子量、分子量、式量 ・アボガドロ数と物質量 ・量的関係 	NO.4	9/16(水)
10月	溶液の濃度 化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> ・溶液の濃度（質量パーセント濃度とモル濃度） ・化学反応式の表し方 ・化学反応式の表す量的関係 	NO.5	10/14(水)
11月	酸化と還元	<ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和滴定 ・酸化還元反応 	NO.6	11/11(水)
12月 1月	復習 単位認定試験	学習内容の復習を行い、不足部分を補う。 単位認定試験	単位認定試験	
2月	復習	学習内容の復習を行い、不足部分を補う。		